

中間決算説明会 (2006年6月期)

2006年2月20日

株式会社 アルバック

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、フラットパネル・半導体・電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

■06年6月期(中)実績と通期見通し

▶業績の概要

▶主な事業展開

■中長期の事業戦略

06/6期(中)の経営環境

■ ポジティブ要因

- ▶ **液晶関連** : 台湾で一時延期された設備投資が再開、ガラス基板大型化の前倒し
- ▶ **半導体関連** : 韓国、日本、米国でフラッシュメモリの大型投資が開始
- ▶ **ポストFPD** : 化合物半導体、MEMS、ハイブリッドカーなどで新規投資が開始

⇒ アルバックが戦略的に最も注力し、得意な分野

■ ネガティブ要因

- ▶ **販売価格** : 構造的なデフレにより下落が継続
- ▶ **製造装置業界** : 韓国、中国メーカーが台頭
- ▶ **国産化** : 政府主導で韓国、台湾での国産化が加速
- ▶ **基板サイズの世代交代サイクルが短期化**

06/6期(中)実績・通期予想

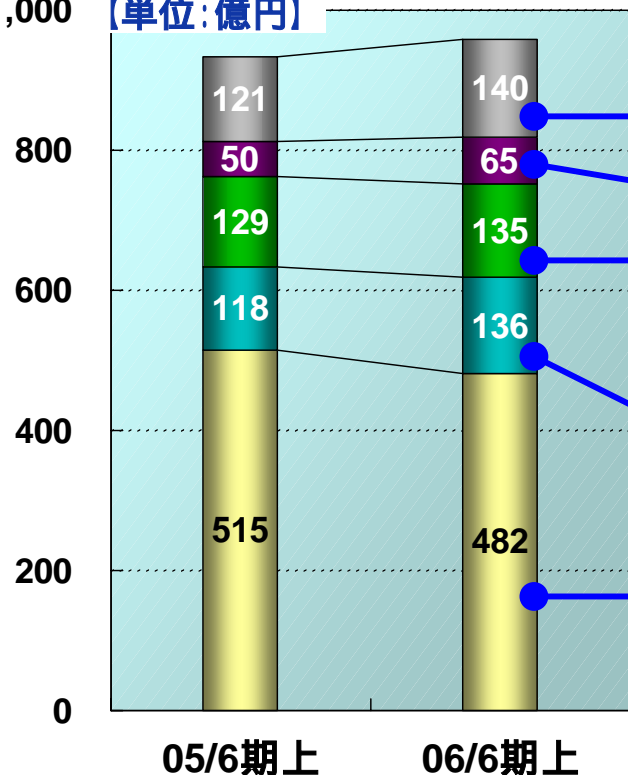
【単位:億円】

	05/6期 (中)	06/6期(中)		前年同期比 (増減率)	05/6期	06/6期 (予)	前期比 (増減率)
		期初予想	実績				
受注高	983	1,020	1,122 (+10%)	+14%	2,062	2,260	+10%
売上高	933	1,000	958 (-4%)	+3%	1,968	2,100	+7%
営業利益	81	28	32 (+13%)	-61%	153	131	-14%
経常利益	81	26	33 (+25%)	-60%	124	126	+1%
当期純利益	52	9	15 (+67%)	-71%	71	71	-1%

注) ()内は期初予想比、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

品目別売上高の実績

1,000 【単位:億円】



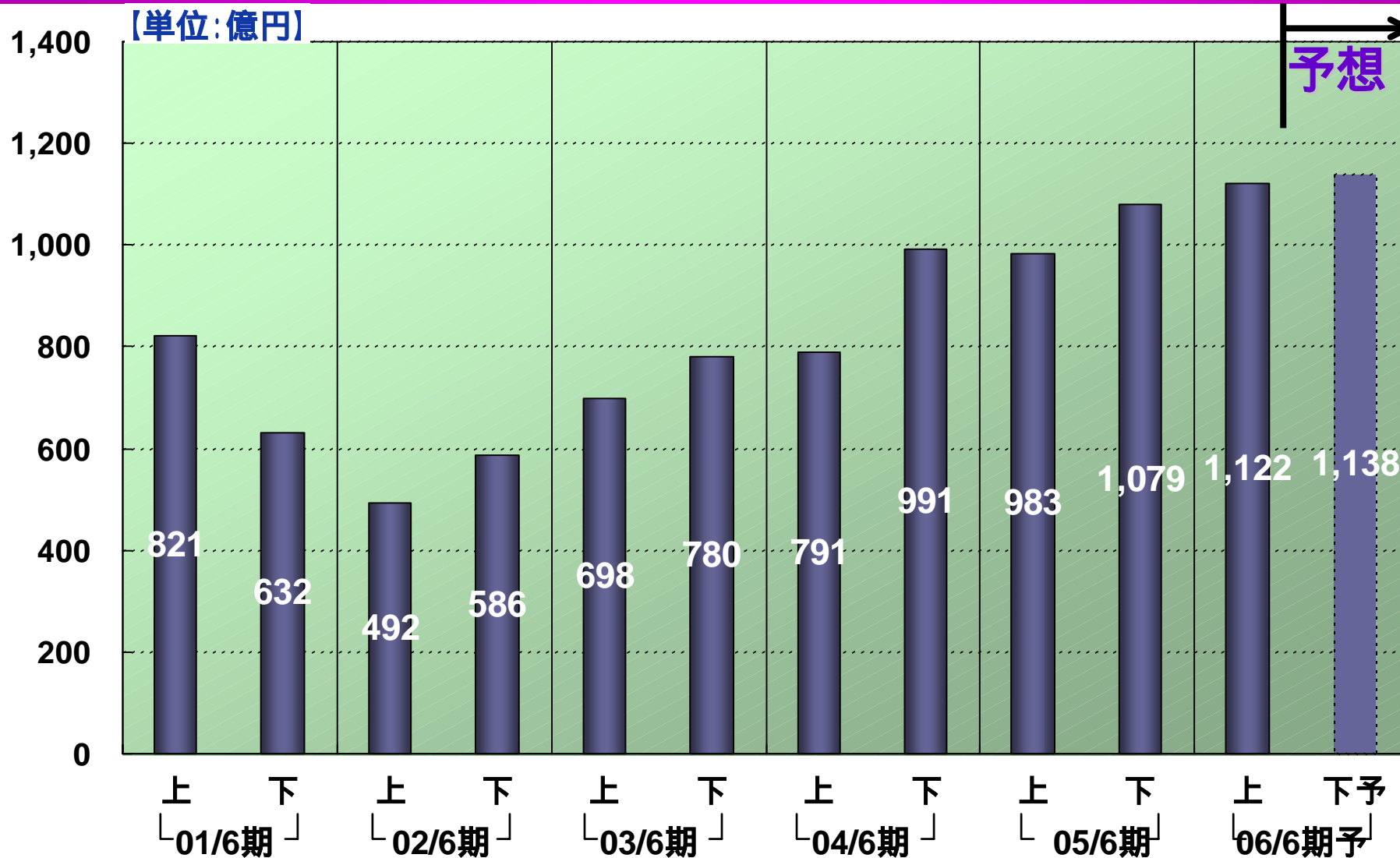
品目	背景(前年同期比較)
その他の事業	・客先稼働率アップによりターゲット材売上増
その他	・自動車関連の設備投資が増加
コンポーネント	・FPD、自動車関連の設備投資が増加 ・真空ポンプ、ドライポンプ、膜厚測定器、測定器など受注、売上が好調
半導体製造装置	・携帯音楽プレイヤーなどのフラッシュメモリ需要増により設備投資が増加
ディスプレイ及び電子部品製造装置	・台湾の液晶関連の設備投資延期の影響。現地据付作業が多く、売上が減少

【単位:億円】

品目	05/6期(中)		06/6期(中)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
真空関連事業	515	55%	482	50%	-7%
半導体製造装置	118	13%	136	14%	+15%
コンポーネント	129	14%	135	14%	+5%
その他	50	5%	65	7%	+32%
その他の事業	121	13%	140	15%	+16%
合計	933	-	958	-	+3%

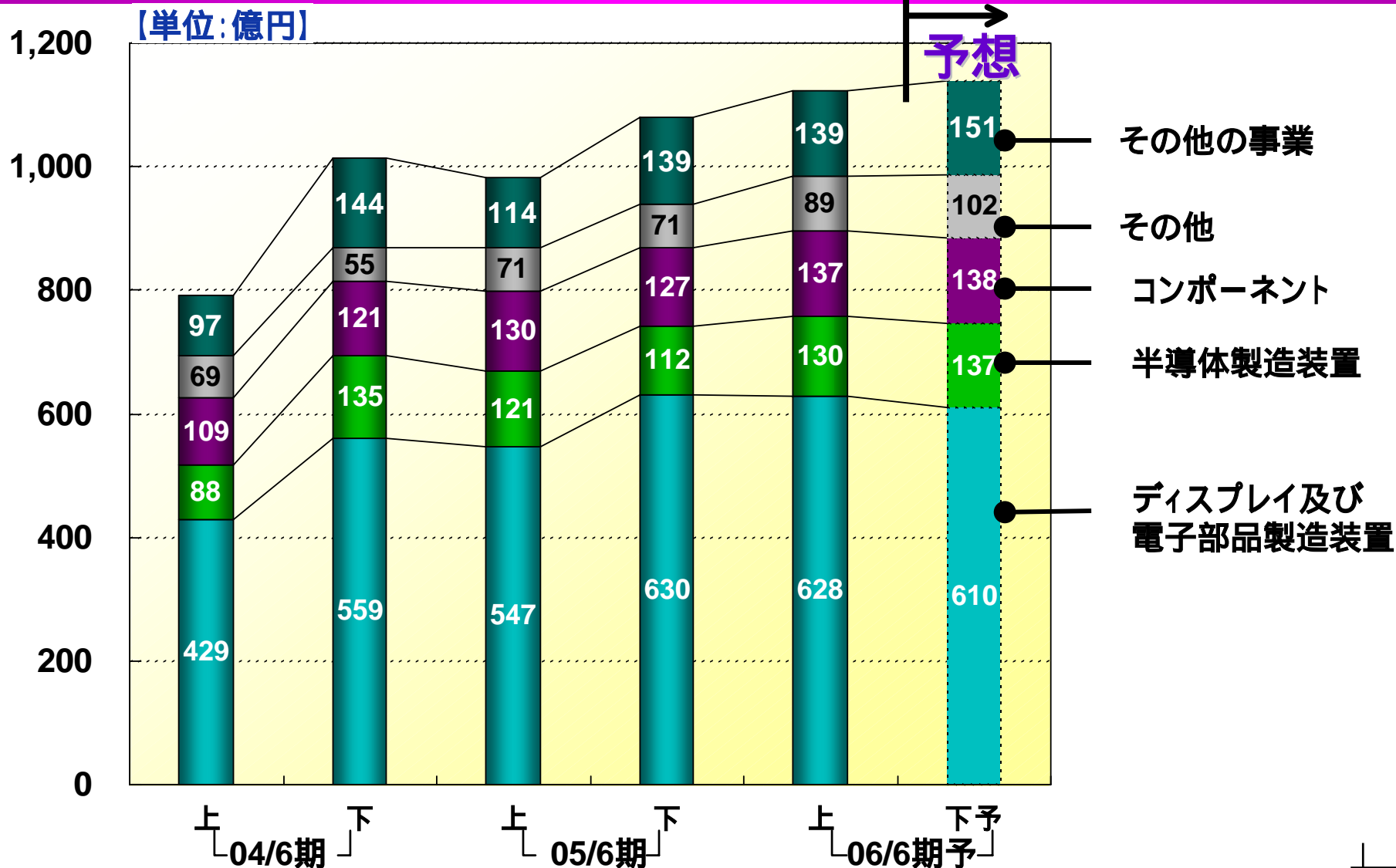
注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

受注高推移・予想



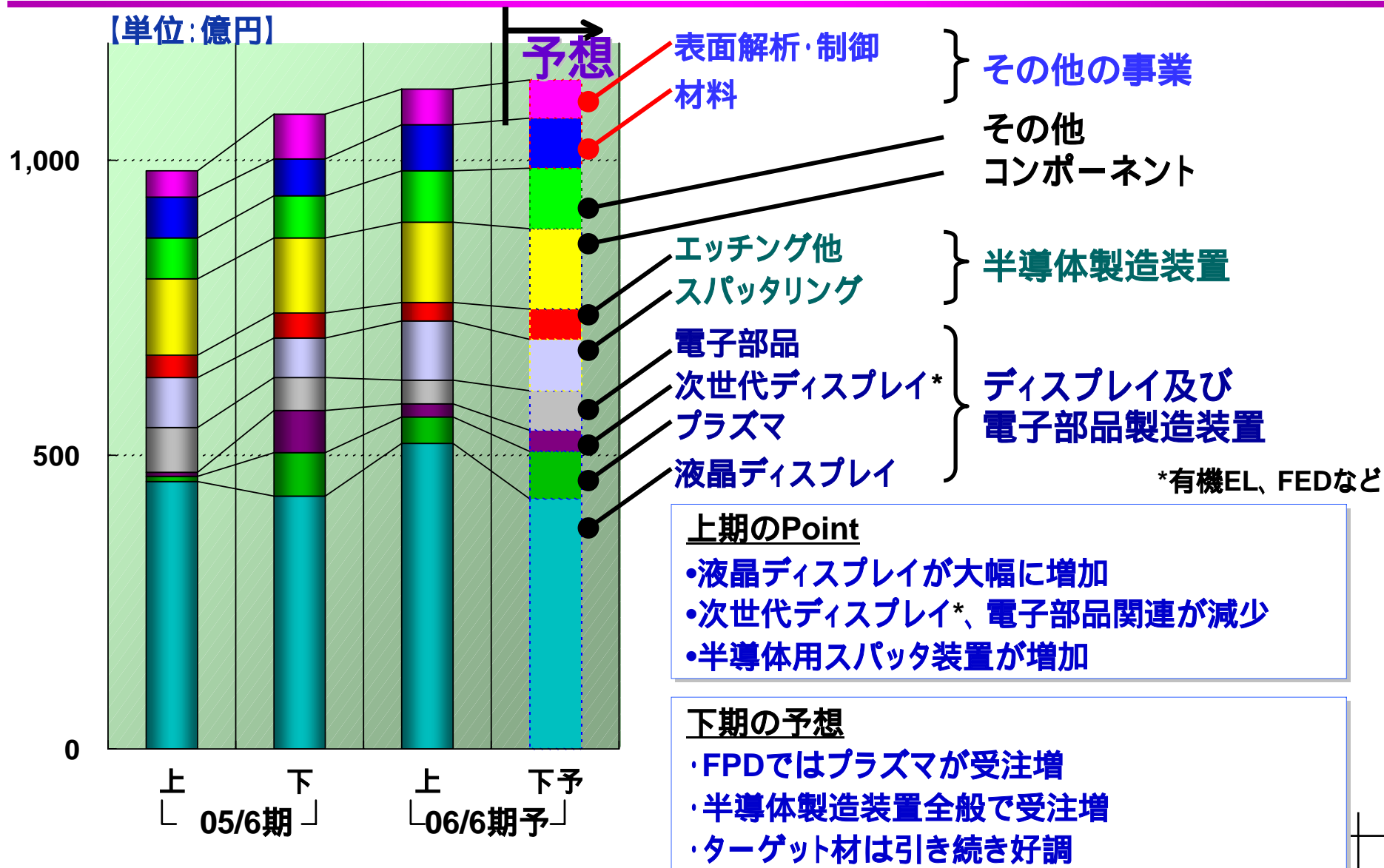
(小数点以下は四捨五入)

品目別受注高・予想

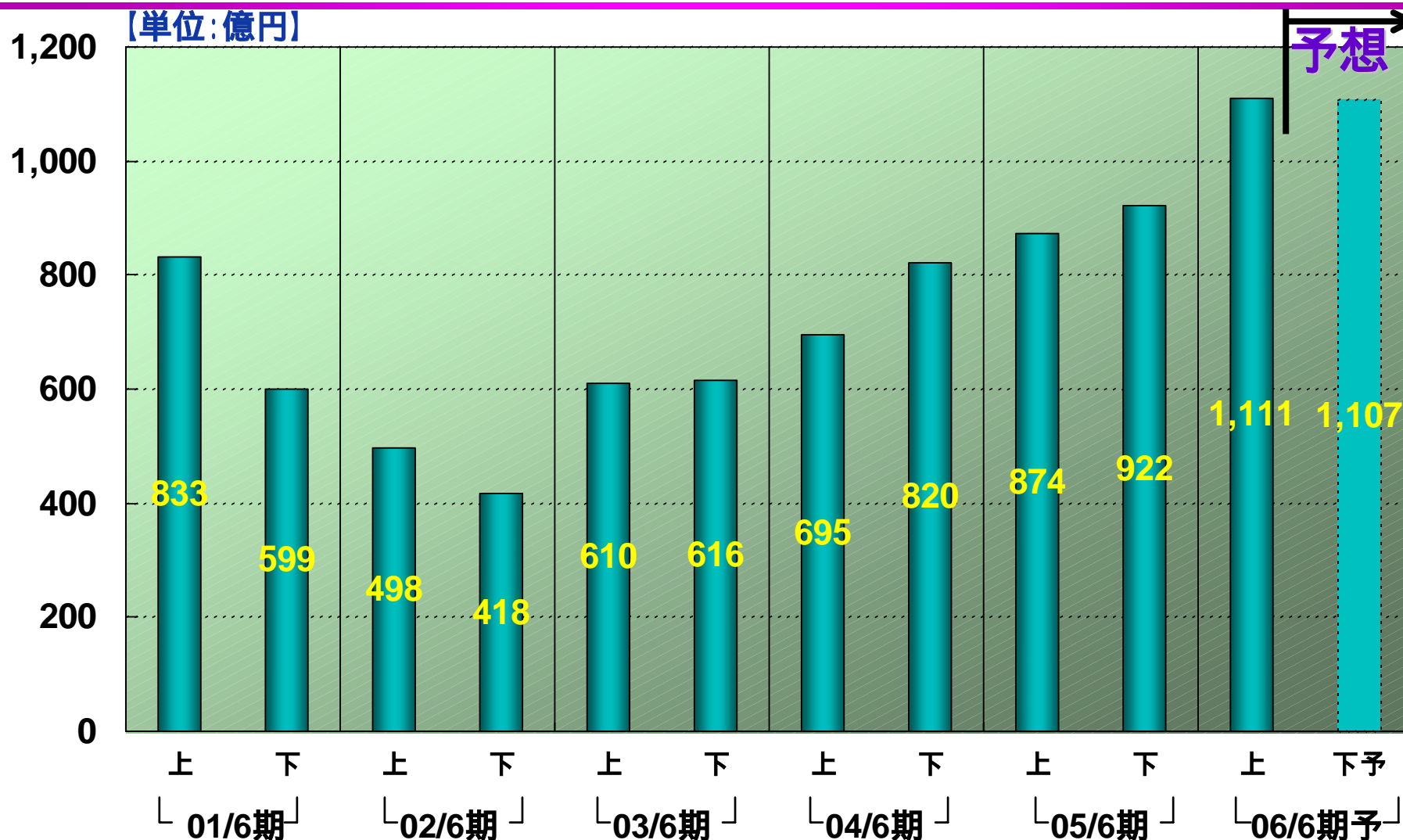


注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目別受注高分析・予想

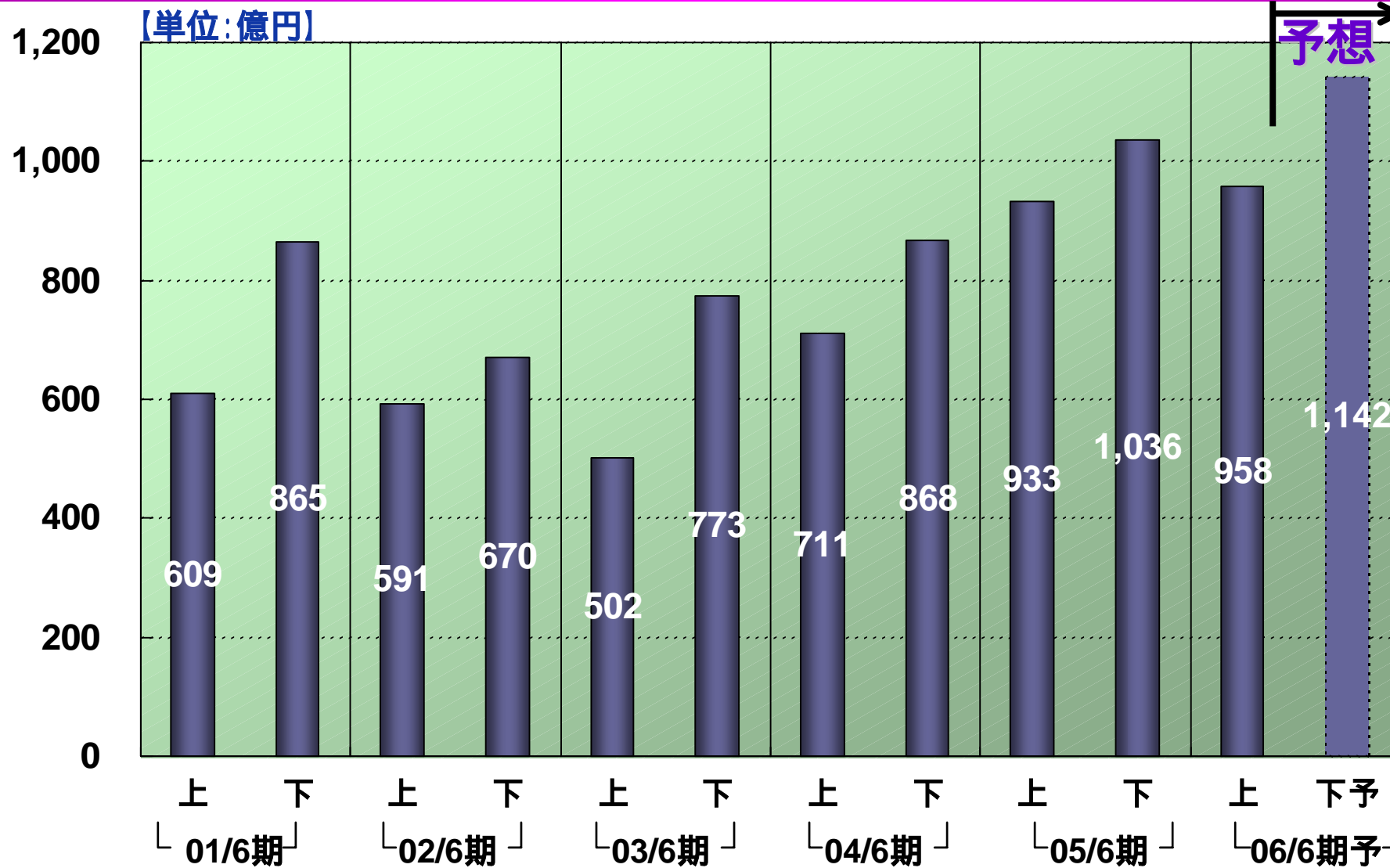


受注残高推移・予想



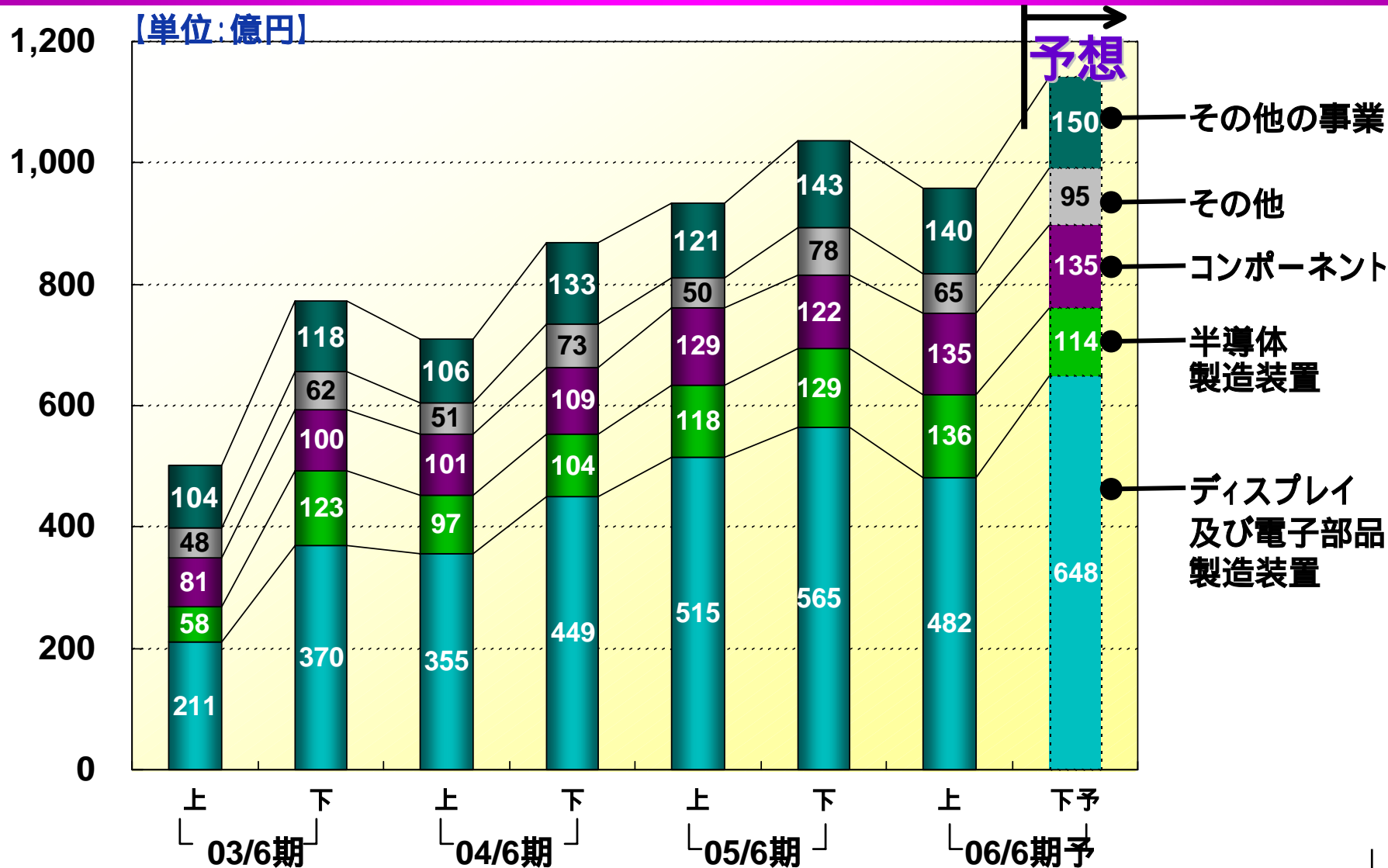
(小数点以下は四捨五入)

売上高推移・予想



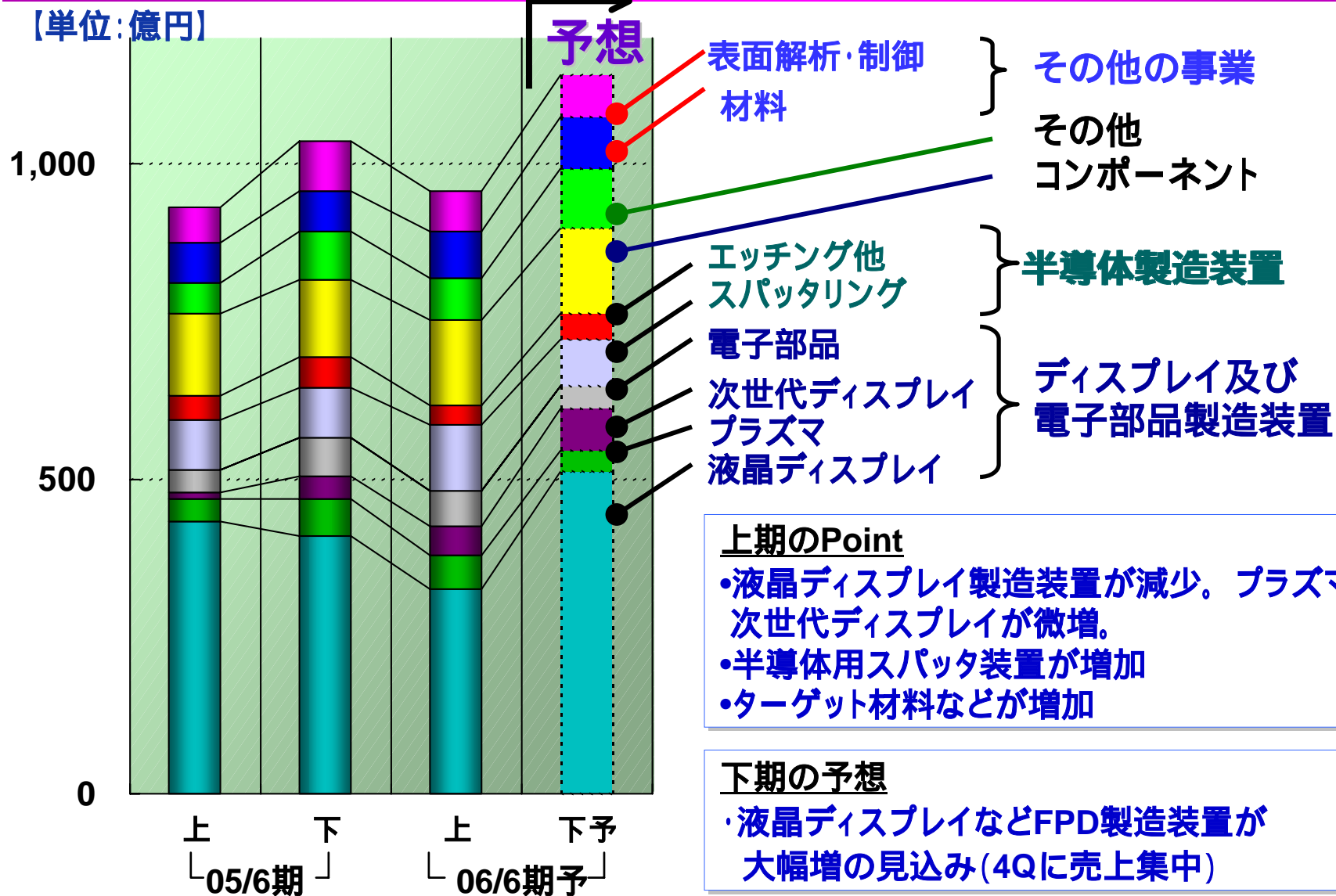
(小数点以下は四捨五入)

品目別売上高推移・予想

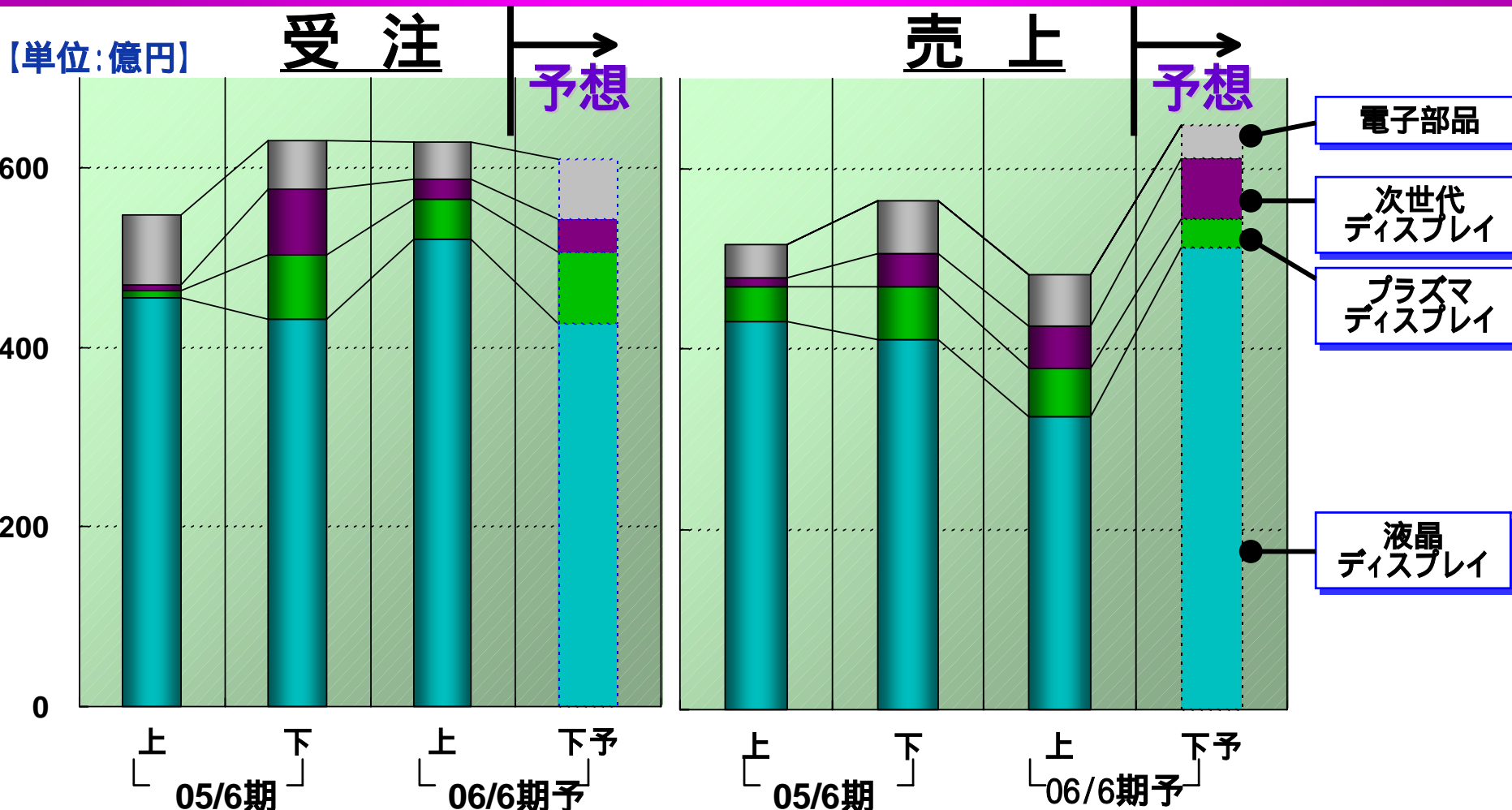


注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目別売上高分析・予想



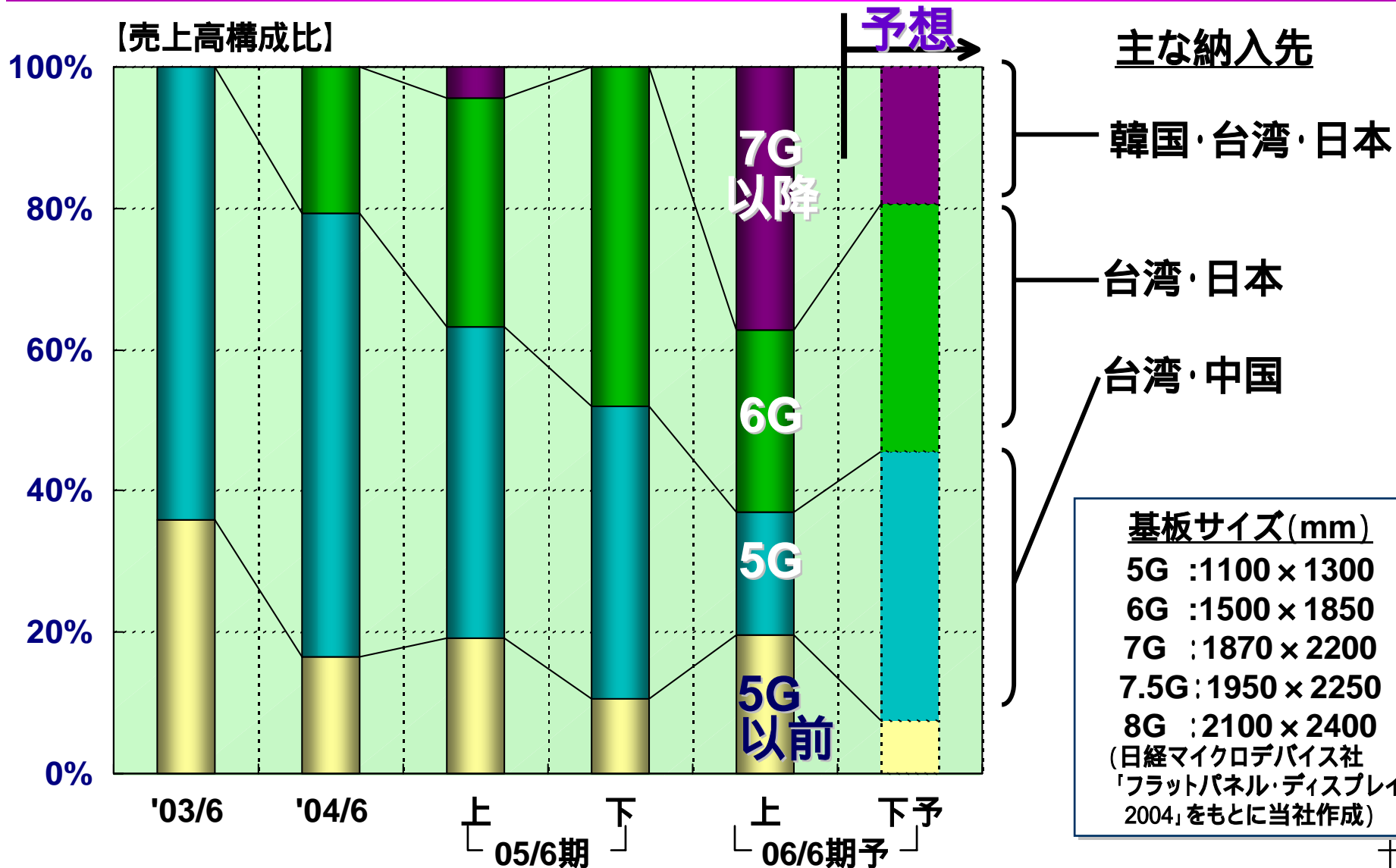
ディスプレイ及び電子部品製造装置の推移



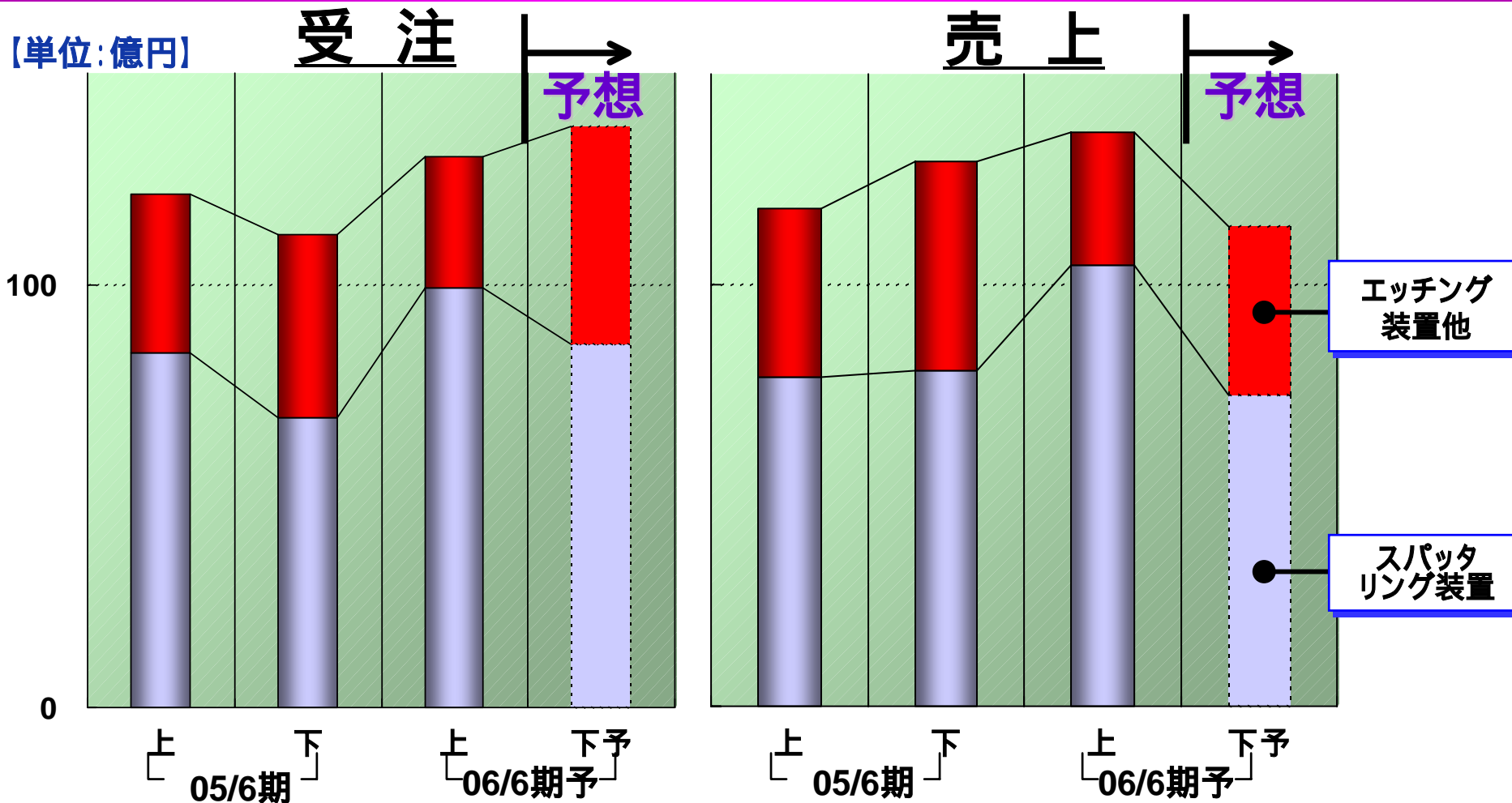
足元の受注環境

- ◆日本、韓国、台湾でTV向け大型基板の設備投資が引き続き堅調。
- ◆中国で5G追加投資引合い有り。LTPSは日本、韓国で引合い。

液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移



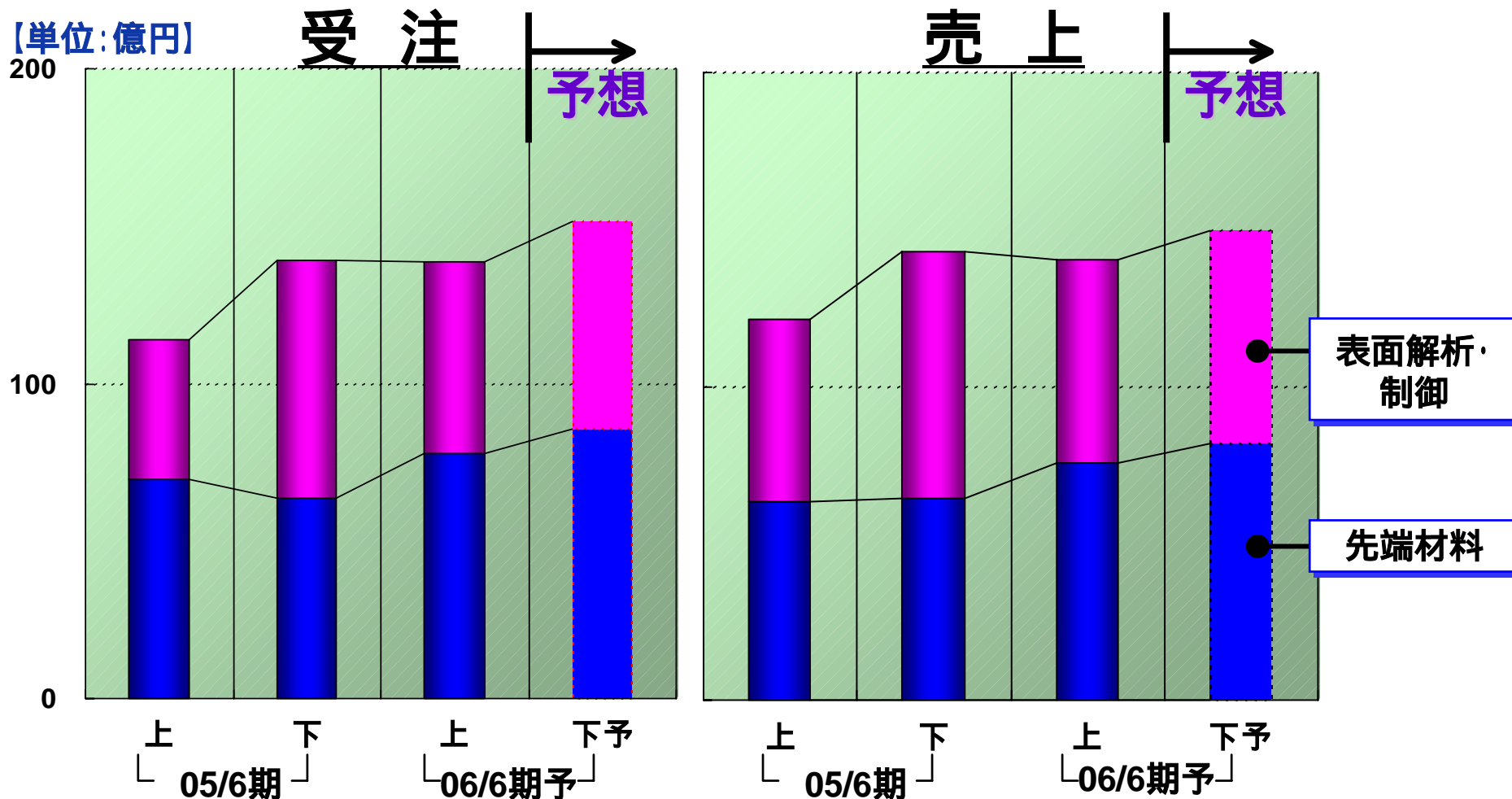
半導体製造装置の推移



足元の受注環境

- ◆フラッシュメモリ向けはスパッタ、自然酸化膜除去装置引合い堅調
- ◆パワー向けはスパッタ、イオン注入装置など引合い増加

その他の事業の推移

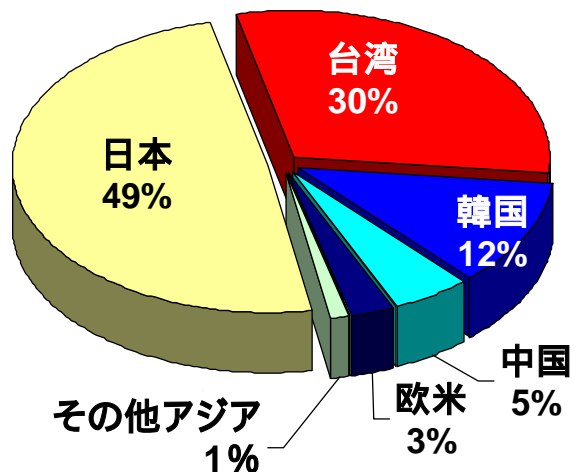


足元の受注環境

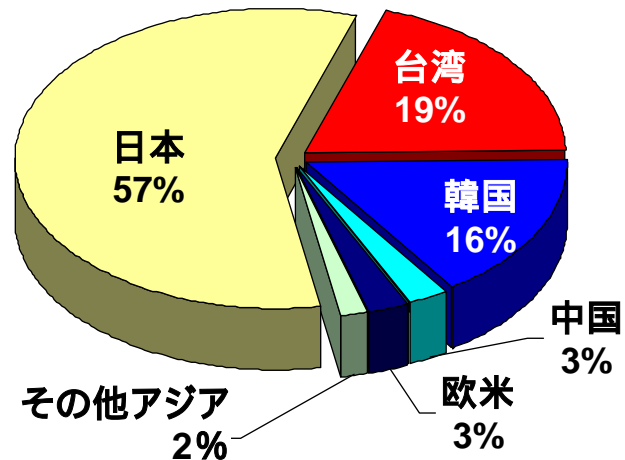
- ◆液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲット材は、メタルを中心に引合い増加
- ◆制御システムは中国、韓国を中心に自動車産業向けサーボ引合い増加

地域別売上高構成比

05/6期



06/6期(中)

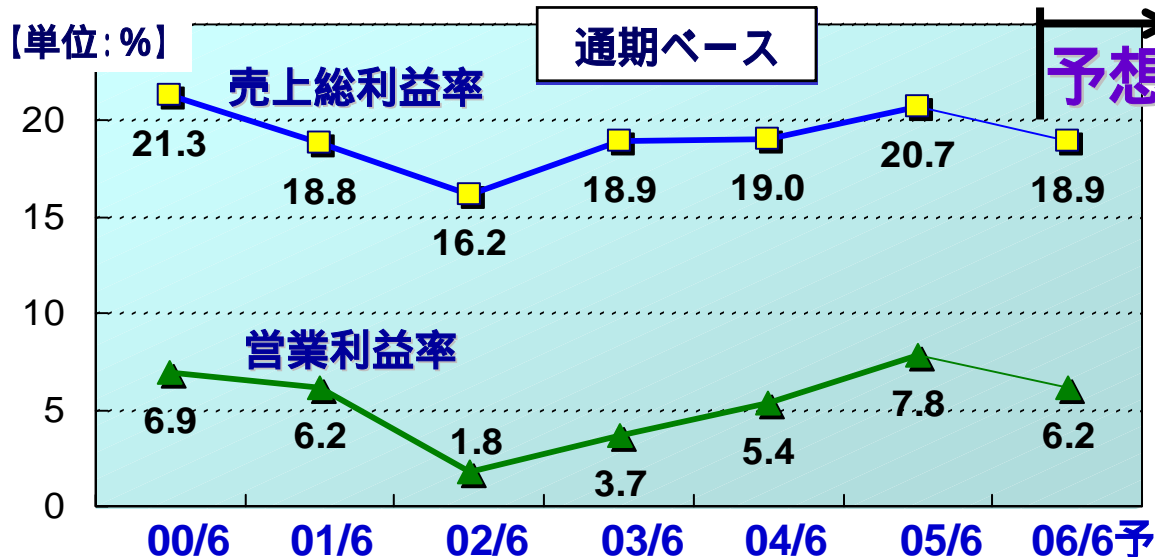
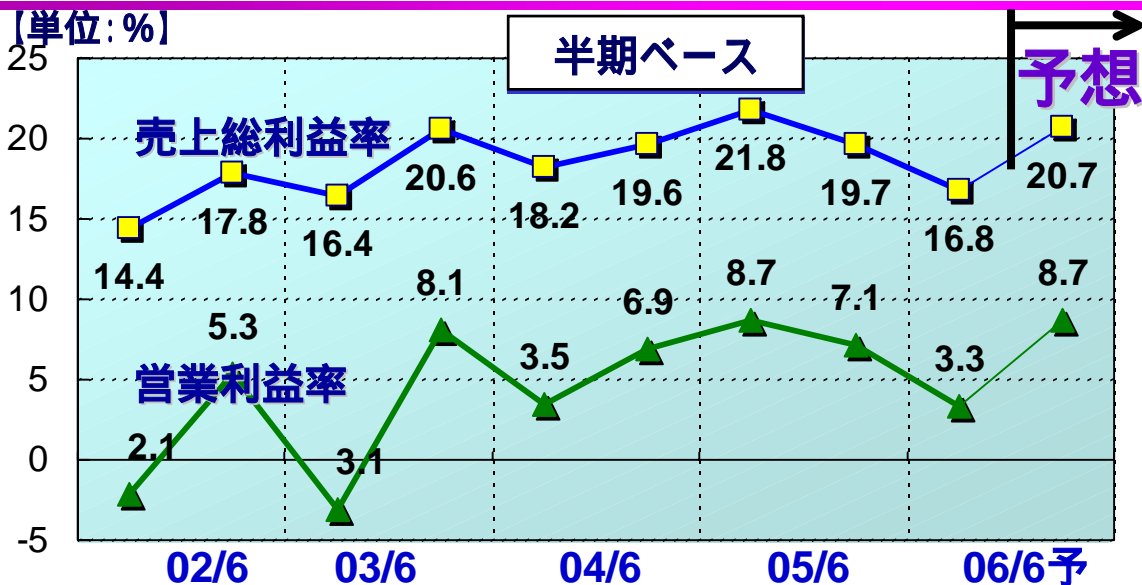


【単位:億円】

地 域	05/6期	06/6期(中)
日 本	968	553
台 湾	597	190
韓 国	231	151
中 国	94	25
その他アジア	21	15
欧米他	57	24
合 計	1,968	958

注) 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

利益率の推移 (連結)



- 06/6期利益率予想
- ▶ 上期分析
 - ・6G～7Gの据付が多く、追加原価が増加、利益率低下
 - ・半導体製造装置、材料、サービスが利益下支え
- ▶ 下期予想
 - ・5G(中国・台湾)～6G、材料、コンポーネントで利益増
 - ・7G以降(韓国・台湾・日本)で追加原価の発生を見込む
- ▶ 通期
 - ・コストダウン、標準化と固定費削減を継続し、利益率向上を目指す

バランスシート(資産の部)

【単位:億円】

	05/6期(中)	05/6期	06/6期(中)	増減()
流動資産	1,569	1,472	1,631	159
現金及び預金	234	175	153	23
受取手形及び売掛金	641	686	739	53
たな卸資産	590	525	666	141
繰延税金資産	31	45	41	4
その他	76	44	36	8
貸倒引当金	2	2	2	0
固定資産	681	770	824	53
有形固定資産	479	539	562	24
建物及び構築物	207	228	245	16
機械装置及び運搬具	143	189	186	3
工具器具及び備品	20	22	23	1
土地	74	75	75	0
建設仮勘定	35	24	33	9
無形固定資産	33	44	58	13
投資その他の資産	169	187	203	16
投資有価証券	101	102	138	36
繰延税金資産	33	35	36	1
差入保証金	13	13	13	1
その他	24	40	17	22
貸倒引当金	1	2	1	1
資産合計	2,251	2,243	2,455	212

運転資金、投資に充当

第2四半期に売上が集中したことによる

期末受注残高増加による

新規連結子会社(中国)分

関係会社投資(アルバック光電、超浄精密科技他)株式時価評価

関係会社出資金の減少(新規連結)による

注)記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

バランスシート(負債・資本の部)

【単位:億円】	05/6期(中)	05/6期	06/6期(中)	増減()
流動負債	1,231	1,185	1,326	142
支払手形及び買掛金	590	553	601	48
短期借入金	335	320	322	1
一年以内償還予定社債	25	25	-	25
コマーシャルペーパー	-	-	100	100
未払法人税等	31	47	26	21
繰延税金負債	0	0	0	0
前受金	70	69	147	78
賞与引当金	11	13	14	1
製品保証引当金	21	23	27	4
その他	149	134	90	44
固定負債	270	282	329	47
社債	2	2	2	0
長期借入金	172	178	215	37
繰延税金負債	-	-	0	0
退職給付引当金	84	90	96	6
役員退職慰労金引当金	9	9	10	0
その他	3	3	7	4
負債合計	1,501	1,467	1,656	189
少数株主持分	35	37	47	9
資本金	135	135	135	0
資本剰余金	147	147	147	0
利益剰余金	430	450	451	1
其他有価証券評価差額金	6	6	11	5
為替換算調整勘定	4	1	9	9
自己株式	0	0	0	0
資本合計	714	739	753	14
負債・資本合計	2,251	2,243	2,455	212

受注残及び棚卸資産増加による

社債償還

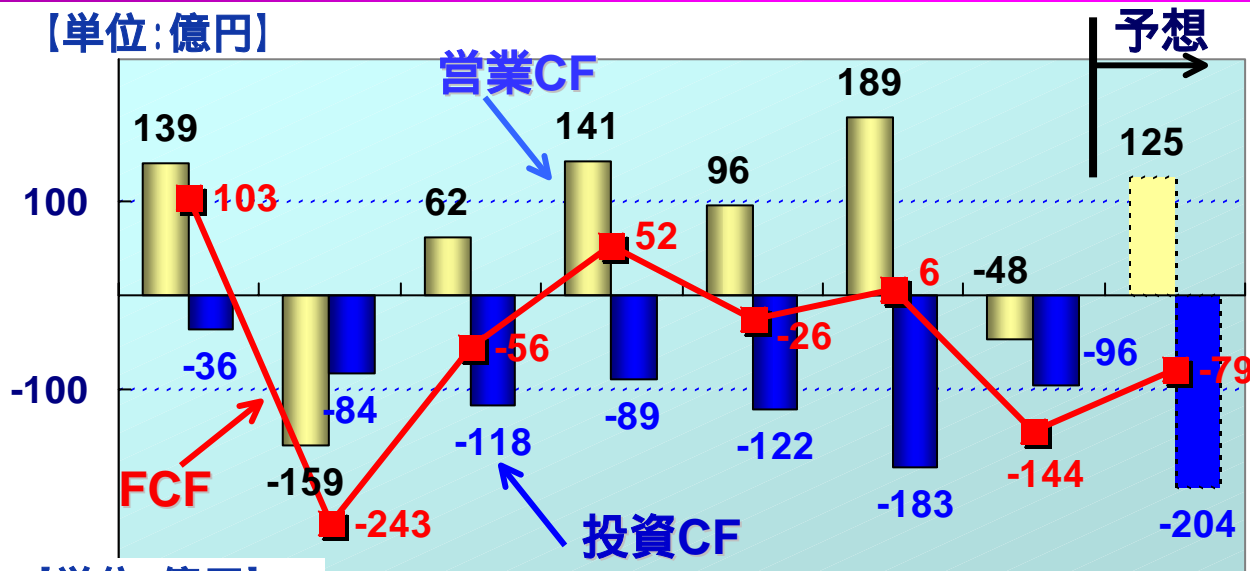
CP発行による

運転資金増加による

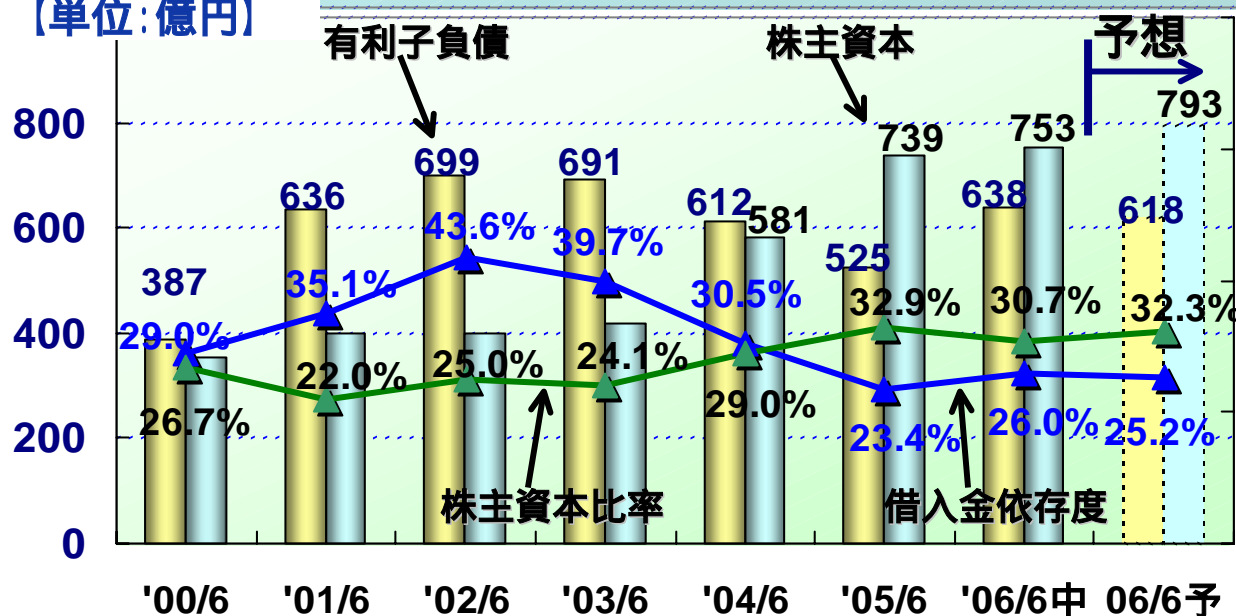
注)記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

キャッシュ・フローと有利子負債の状況

【単位:億円】



【単位:億円】



主要要因

■ 営業CF: -48億円

<プラス要因>

- ・当期純利益 35億円
- ・減価償却費 36億円
- ・前受金増加 78億円

<マイナス要因>

- ・運転資金増加 132億円
- ・法人税等支払額 40億円

■ 投資CF: -96億円

<プラス要因>

- ・固定資産売却等 14億円

<マイナス要因>

- ・台湾新会社投資 25億円
- ・工場及び設備の投資 64億円 (ULMAT, アルパック中北, アルパック蘇州、研究開発用設備等)

(小数点以下は四捨五入)

■ 06年6月期(中)実績と通期見通し

▶ 業績の概要

▶ **主な事業展開**

■ 中長期の事業戦略

事業展開について(中国)

- 愛発科東方真空(成都) 有限公司(アルバック成都)



漏れ検査装置などの生産工場
(05/11竣工)

【投資額:約5億円】

- 愛発科真空技術(蘇州) 有限公司(アルバック蘇州)



電子部品製造装置などの生産工場
およびCSソリューション工場
(05/9 2期工場稼動開始)

【投資額:約5億円】

注)「投資額」は、ニュースリリース文にて開示した額を記入

事業展開について(中国)

- 愛発科中北(沈陽) 有限公司(アルバック中北)



真空炉などの生産工場
(05/9稼動開始)



真空熱処理炉

【投資額:約4億円】

- 中国の投資性公司(傘型企业)(愛発科(中国)投資有限公司)設立準備開始 (06/4設立予定)

注)「投資額」は、ニュースリリース文にて開示した額を記入
FY05FHIRPRSN060220

事業展開について(台湾)

■ 超淨精密科技(股)有限公司



CSソリューション工場
(06/7竣工予定) (工場建設中)

【投資額:約8億円】

■ 優貝克光電(股)有限公司 (アルバック光電)



FPD製造装置などの生産工場
(07/1竣工予定) (工場建設中)

【投資額:約10億円】

注)「投資額」は、ニュースリリース文にて開示した額を記入

事業展開について(M&A)

■ Litrex100%子会社化



インクジェットプリンティング
(05/11契約締結)



液晶ディスプレイ用
インクジェットプリンティング



Litrexでの100%子会社化
記念式典

事業展開について(拠点設立)

■ ULVAC THAILAND,LTD



タイにおける販売及びカスタマーサポート(05/11設立)

■ 韓国アルバッククライオ



【投資額:約6億円】

クライオポンプの海外生産工場(05/11竣工)

■ アルバック機工宮崎工場へ生産集約(工場建設中)



(06/10竣工予定)

【投資額:約10億円】

注)「投資額」は、ニュースリリース文にて開示した額を記入

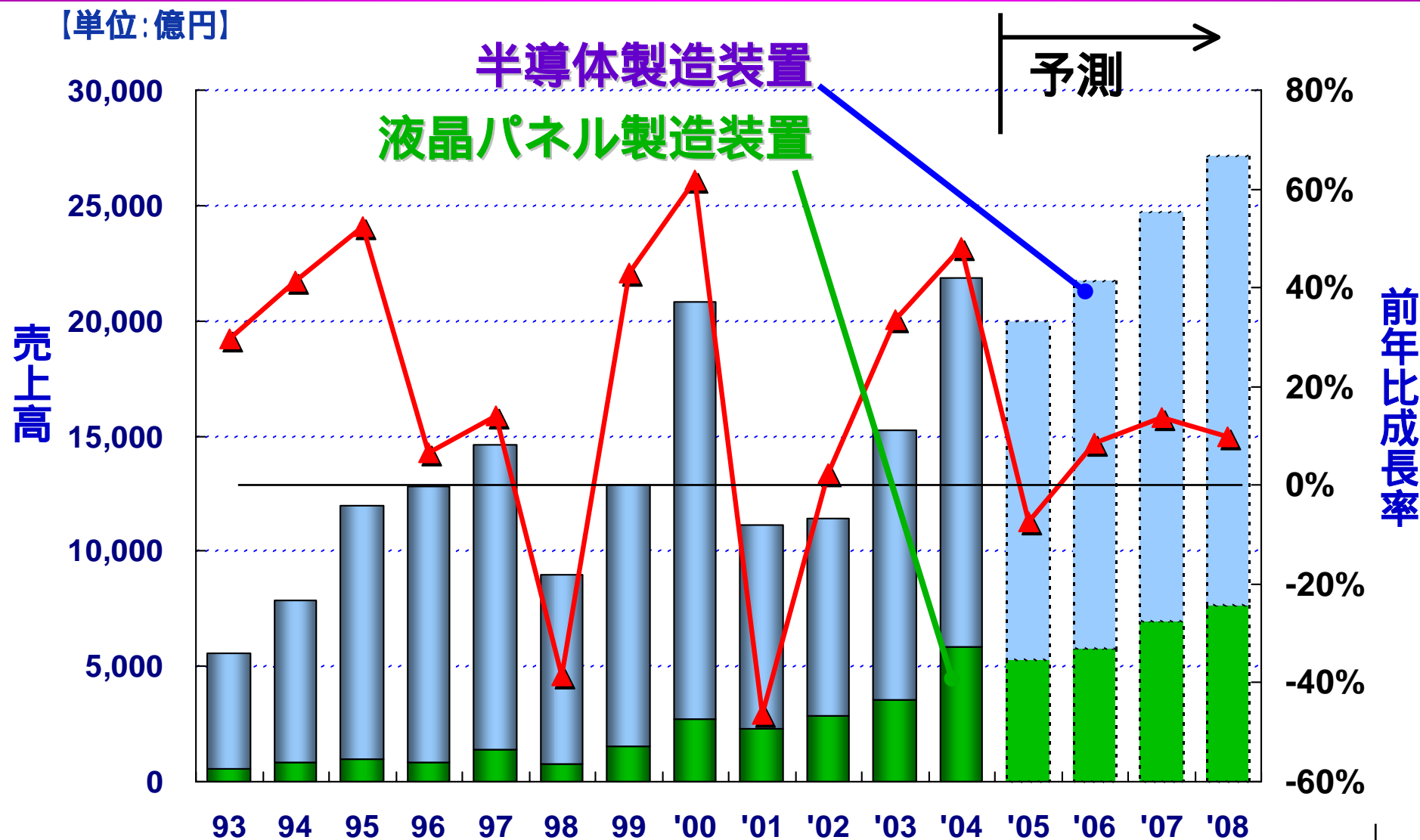
■06年6月期(中)実績と通期見通し

▶業績の概要

▶主な事業展開

■中長期の事業戦略

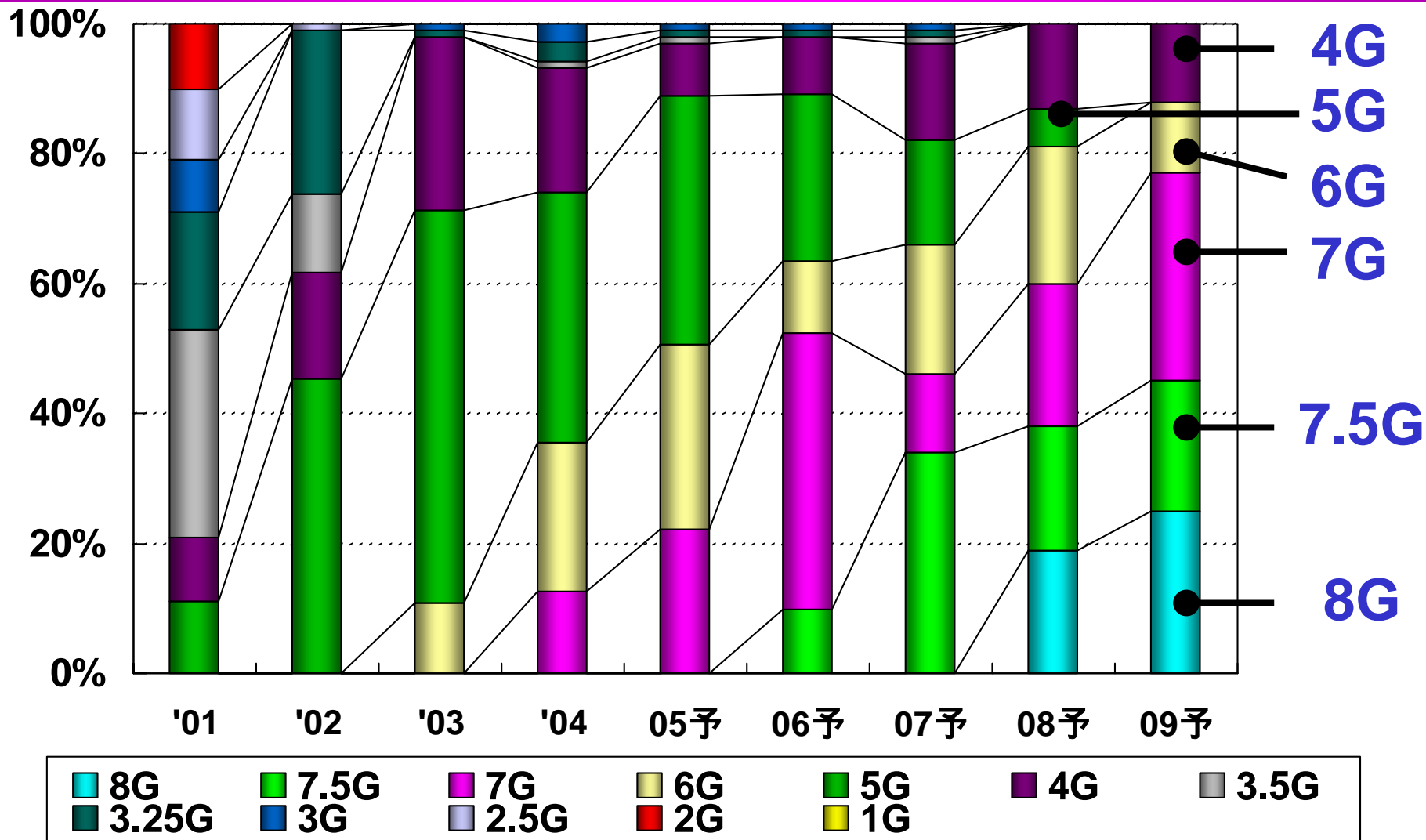
< 日本製装置売上高予測 >



(出所:2006年1月 SEAJ)

(売上高: 日系企業(海外拠点含む)の国内および海外への販売高)

液晶ディスプレイ世代別投資



(出所:2005年12月
The 10th DisplaySearch Japan Forum)

中長期の事業戦略

- デジタル家電(薄型TVなど)向け装置を中心に受注増をめざす
 - ▶ 増加が予想される製造負荷や装置大型化に対応するインフラ整備の検討
- FPDの設備投資の成長はいずれ鈍化。FPDの次に成長する柱をつくる。(ポストFPD戦略)
 - ◆ MEMS、光学膜などのデジタル家電用製造装置
 - ◆ エネルギー・環境関連のハイブリッドカー関連装置
 - ◆ 世界の製造業を牽引する中国
 - ◆ 安定経営のためのカスタマーサポートとOEM生産

ポストFPD戦略(進捗度)

項目と主な分野	05/6期	06/6期(中)	06/6期予
1.デジタル家電部品用装置 光学膜、化合物半導体 MEMS、高密度実装など	62億円	約40億円	約110億円
2.ハイブリッドカー関連装置 永久磁石、二次電池 コンデンサー、パワーICなど	37億円	約25億円	約60億円
3.世界の製造業を牽引する中国*1 コンポーネント、一般産業機器 電子機器、FPD・半導体	50億円	約21億円	約140億円
4.カスタマーサポートとOEM生産 洗浄、部品、材料、サービス 光学膜OEM*2	490億円	約260億円	約500億円

注)*1: 05/6期は中国現地法人分含まず
 06/6期は中国現地法人含む

*2: 非連結

【上記の各項目の予想受注額は一部重複して合算されています。
 また、予想受注額は事業規模を判断するための参考値で、当社の連結受注額に合算されない額も含まれています。】

「ポストFPD戦略」の展開について

<p>1. <u>デジタル家電部品 (ハイブリッドモジュール)用装置</u></p>	<p>・パワーIC向けイオン 注入装置販売開始 (05/11)</p>
<p>2. <u>ハイブリッドカー関連装置</u></p>	
<p>3. <u>世界の製造業を牽引する中国</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中国・沈陽 (05/9) : 真空熱処理炉本格生産開始 ▶ 中国・成都 (05/11) : リークテスト装置本格生産開始 	
<p>4. <u>カスタマーサポートとOEM生産</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ CS(カスタマーサポート)ソリューション工場の設立 <ul style="list-style-type: none"> ■ 中国・蘇州(05/9) : 洗浄、機械加工など ■ 台湾・台南(06/7予定): 洗浄、ボンディング、機械加工など ■ タイ・バンコク(05/11) : 保守点検など 	

ULVAC

本日は
ありがとうございました